

ことを話したのです。

ところがどうでしょう、「中根はけしからん。府庁をぬきにして宮内省に行った」といって知事さんが頭を横に振ったのです。池松という知事さんでした。私は府庁をぬきにして行ったのではなく、秘書課長が宮内省のご意向によるというので宮内省にお頼みに行っただけでした。しかし知事さんはそういう事情がわからず、「けしからん」といって台覧を許可しなかったのです。せつかく大森太夫にご承諾をいただいたのに誠に残念でした。

残念で仕方がなく、府庁を出て、御所のところをとぼとぼ歩いて帰りつつあるときでした。西 繁先生にお会いしたのです。この先生は医学博士で成安女子学院の創立者のお兄さんで、私がよく存じている先生でした。この先生にばったり会ったのでした。そこで私がこのことを詳しく話し、知事さんが許可しないのは残念ですと申し上げたのです。そうしたら西先生が「もう一度行きなさい」といわれたのです。そのときはもう皇后陛下は京都にお出でになつておられ、大森太夫も来ておられたのでした。ようし、それではと気を取り直し、大森太夫の宿舎をお訪ねしたのでした。その時私は速記文字画帳を持っていたのです。この画帳を皇后陛下にお目にかけていただくよう府庁に頼んでも、それも取り上げてくれなかったものでした。速記文字画をたくさん書いてアルバムに張っていたものです。皇后陛下に直接速記教育の実際を台覧に供することはできなくなつたにしても、せめてこの速記文字画帳だけなりともお目にかけてら